

大牟田市立羽山台小学校

1 本校のESDの特徴

昨年度までは、本校は全学年を通して計画的に福祉教育を位置づけ、SDGsの目標「3 すべての人に健康と福祉を」をテーマに実践してきた。この実践により、住みよい社会をつくるために思いやりや助け合いの心をもつ児童の育成を目指してきた。また、それらの心を発揮する対象を、人だけではなく、ものやことにも広げるために、「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」をテーマに、環境教育にも重点を置いてきた。さらに、以上のような福祉教育、環境教育を位置づける生活科や総合的な学習の時間と、本校の研究教科である国語科教育の内容を横断的に組織してきた。

本年度はコロナ禍であったため、一部の学年の内容、または内容の一部を変更してESDを実践した。



2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学 年	内 容「ポスターを読もう」	教科等・時期国	ESDで重視する主な能力・態度
1 年	「あきとあそぼう」、「ふゆとあそぼう」 「ききたいなともだちのはなし」	生活科・1月総 国語科・1月	③多面的、総合的に考える力②
2 年	「わくわくするね 2年生」 「きょうのできごと」	生活科・4月 国語科・4月	⑥つながりを尊重する態度
3 年	「よりよい暮らしについて考えよう」	総合科・10月 語科・9月	⑤他者と協力する態度
4 年	「狢犬って何？」 「調べて話そう、生活調査隊」	合1月 国語科・2月	未来像を予測して計画を立てる力
5 年	「わたしたちの地球環境を守ろう」 「よりよい学校生活のために [コラム] 意見が対立したときには」	総合11月～12月 国語科・10月	②未来像を予測して計画を立てる力
6 年	「大牟田を元気にしようプロジェクト」 みんなで楽しく過ごすために	総合10月～11月 国語科・10月	③多面的、総合的に考える力
全学年	「ESD展示会」	2月	③多面的、総合的に考える力

3 特徴的な活動事例

<1年生 あきとあそぼう・ふゆとあそぼう>

【ねらい】秋と冬の校庭や町の様子の変化に気付き、それぞれの季節を楽しむ。

【主な内容】校庭や町で秋・冬見つけをしたり、秋や冬のもので遊んだりして、気づいたことを話し合う。

- 【成果】・木や花壇、遊具などから季節の変化への気付きを促すことができた。
・家の中の様子について秋と冬を比較し、変化に気付くことができた。



<3年生 よりよい暮らしについて考えよう>

【ねらい】障がいがあってもなくても、みんなが気持ちよく一緒に暮らせる社会をつくろうとする態度を育てる。

【主な内容】目や耳が不自由な方や点字通訳者に来て頂いて話を聞く。

【成果】本で調べた内容が「にこにこ交流会」で深まり、「にこにこ交流会」の学習が「ありがとうカード」で広まった。



<4年生 狛犬って何?>

【ねらい】地域の狛犬の由来や歴史について関心をもち、神社や狛犬を調べる活動を通して、昔から存在する物の価値に気付く。

【主な内容】地域の方々をG.T.として招き、一緒に神社を巡り、狛犬の由来や歴史について調べ、発表し合った。

【成果】現地に出かけて、直接見たり聞いたり出来たため、具体的に学習できた。また、羽山台校区についての愛着が芽生え、他の内容についても調べてみたいという意欲的な態度が育った。

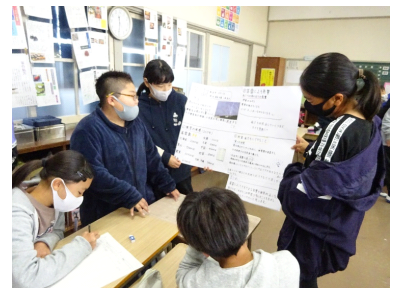


<6年生 大牟田を元気にしようプロジェクト>

【ねらい】自然と人間との関わり方について学び、防災、減災と災害後の復旧・復興のため、今の自分にできることを考えられるようにする。

【主な内容】大牟田の被災状況から、自然災害について問題意識をもち、自然災害について調べた内容を発表し合った。また、被災した大牟田を元気づける取組を考え、行動した。

【成果】さまざまな自然災害における防災方法が理解できた。また、大牟田の復旧・復興のために出来る取組を考え、大牟田を元気づけるために行動できた。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・自分の考えを伝えたり、友だち考えを尊重したりして、コミュニケーションを図りながらグループ内で課題解決に向けて協働で活動できた。
- ・全教室にSDGsに掲示したり、委員会活動の取組が17の目標のうち、どれに当たるかについて年度当初に話し合う場を位置づけたことで、明確な目標を持ち高学年の児童を中心に自覚をもって自主的に活動できるようになってきた。
- ・コロナ禍ではあるが、内容と方法を見直して、3密を避けるなど工夫して取り組むことができた。

○課題

- ・職員は、SDGsの目標についての理解については深まってきているが、17ある目標の達成目標や実現のための方法についても研修する場を位置づける必要がある。
- ・生活科及び総合的な学習の時間においてSDGs/ESDを実践する上で、各教材の価値を考えたり、何をどの程度達成できればよいかについて、目指す子どもの姿を具体化していく必要がある。